

政宗公が傾倒した 金春流の能のワークショップ

600年以上の歴史を持つ日本で最も古い伝統芸術、能。伊達政宗公は五大流派（観世・宝生・金春・金剛・喜多）のうちでは、起源が最も古いとされている金春流に傾倒し、小姓の桜井小治郎（桜井八右衛門安澄）を奈良、金春翁大夫の元に派遣し、能を伝授してもらっています。



金春流能楽師 本屋 禎子

社団法人能楽協会会員、仙台市能楽振興協会常任理事、公益財団法人藤井寺市地域サービス公社理事、宮城教育大学名誉教授、大阪女子短期大学元教授。

みちのく伊達文化の会

市民が「身近に」かつ「具体的に」伊達文化のコンテンツに触れることのできる場を作りたい。その想いのもと、「みちのく伊達文化の会」が生まれました。伊達に息づく「能」の文化、伊達政宗公が愛した「茶道」など様々な伝統文化を実際に継承されている方々を交えて舞台上だけでなく、舞台裏を知っていただくことを目指した学びの場づくりをしていきたいと考えております。

ぜひ、ご参加ください。

伊達政宗公が会津磐梯山で 芦名義広を破ったときの唄 「正調さんさ時雨」の舞

さんさ時雨の起源については諸説があります。伊達政宗が会津磐梯山の麓摺上原で芦名義広を破ったときの歌という説があります。旧五軒茶屋の高橋いなさんは、江戸時代からの「正調さんさくれ」の唄を知るただ一人の人と言われていました。「正調さんさくれ」は、養女となった、高橋美津さんに引き継がれました。踊りは明治以降、振り付けられ、五軒茶屋で大変な評判を取りました。高橋美津さんは、日本舞踊坂東流の師範で、多数の教え子を輩出。大町正子さんは、直接踊りの手ほどきを受けた継承者の一人です。



大町 正子(坂東寿正)

日本舞踊 坂東流師範 公益社団法人日本舞踊協会会員

主催：みちのく伊達文化の会実行委員会
共催：伊達着物衆・梅らぶ・センダイ自由大学
協力：せんだい演劇工房 | 10-BOX
予約：facebook イベントページ
「みちのく伊達文化の会」

問い合わせ：TEL.080-6029-9113 (担当：野原)

1月
24日(土)

聴雪

津軽錦風流尺八を青森県技芸指定保持者の後藤清風(貴風)、松岡俊二郎(竹風)の両師に師事。その後、仙台にて郡川直樹のもとで宮城・新潟・福島などの古典尺八本曲を学ぶ。



写真：鈴木 洋

仙台、宮城、東北の古典尺八本曲 芭蕉の辻の『芭蕉』に由来する 「宮城野鈴慕」

東北はかつて尺八音楽の盛んな地でした。津軽の武士が吹き伝えてきた錦風流の曲をはじめ、独特の風合いを持った名曲が現代に残されています。そのひとつに「宮城野鈴慕」。伊達政宗公が国を治めるにあたって功績のあった芭蕉という人物が、芭蕉の辻に屋敷を賜りました。後年、三代目芭蕉は名取の増田にある虚無僧寺・布袋軒(ふたいけん)に。布袋軒の最後の住職、長谷川東学が残した尺八の曲が「宮城野鈴慕(または布袋軒鈴慕)」と呼ばれています。

日程 2015年1月24日(土)

時間 開場 13:00 開演 13:30 (終了予定 16:30)

場所 能-BOX
(〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-15-6
サンフェスタ隣り 仙台駅バスターミナル4番から
約25分 仙台市営バス「卸町三丁目」下車)

入場料 2,000円(お茶・お菓子付き)

定員 50名

仙台藩に仕えた茶道頭 石州流清水派のお点前披露

仙台藩では、石州流が代々藩主の茶道として伝えられています。4代藩主綱村公の時世に、仙台藩茶道「石州流清水派」が三世清水道竿によって確立され、以来変わることなく、今日まで継承されています。「茶の湯は貴賤の別なく誰にでも楽しめるものである」という精神が息づいています。

仙台藩茶道系図

清水道閑(1世)→動閑(2世)→道竿(3世)→道簡(4世)→道斎(5世)→道會(6世)→道鈴(7世)→道鑑(8世)→落合道鑑(9世)→大泉道鑑(10世)→大泉道鑑(11世)



瑞鳳殿で伊達政宗公への献茶のお手前を行う大泉道紀

「みちのく伊達文化の会」in 能-BOX

新しき年への祝い。東北の文化を愛でる一日。